行軍中の負傷による失神のこと

匿名希望（父から聞いた話）

父が姫路連隊として中国に渡り、ある川を渡河している時に肩を撃たれ失神してしまったそうです。皆は父が亡くなったものと思い、河原に父を引き上げ、行軍を続けたそうです。一昼夜気を失っていた父は何日目かの夜（翌夜か当日夜）に追いついたそうです。